

高知中央高校 看護学科専攻科課程 2年生の実習指導に あたり

5病棟看護主任 新階 友美

今回、2回目となる実習指導には3グループ計11名の実習生（各9日間）受け入れをしました。昨年同様WLB推進活動の一環である若年者スタッフの人材確保と定着を目標とすると共に、学生を受け入れる事で病棟スタッフのレベルアップにつながるの思いから受け入れています。

指導を するための知識や技術を学ばせて頂きました。その研修の一部ではありますが、現在の学生の傾向やコーチングについて病棟内で伝達講習を行いました。そして、学生が何を目的・目標とし実習に来るのか、学生を受け入れるためにスタッフができる事は何かを紙面で張り出し共通認識できるようにしました。

実習指導は大崎看護主任、田上看護師、新階の3人で臨みました。実習生に関わる事でロールモデルになれるよう各スタッフ自身、自己研鑽できたのではないかと思います。また、実習生が患者さんと向き合う姿勢や言葉遣いは誠実で、患者さんを看護する賢明な姿には学ぶべきものがあり刺激になりました。私自身、指導者として学んで来たことを生かすには、まだまだ不十分な点が多く、学生自身が持っている力を十分に引き出すような関わりが出来ませんでした。今回の反省点や課題

を明確にし、今後に生かせるよう努力していきたいと思います。

リハビリテーション 実習生からの 感想

土佐リハビリテーションカレッジ
作業療法学科 4年 八松夏美

実習を行って2ヶ月間という期間の中で、担当症例と良い関係がとれるのか、担当症例にとって良かったと感じてもらえるのかという不安と期待でいっぱいでした。順調に進めず担当症例と上手くいかずどうしたらいいのか分からなくなってしまい、途方に暮れる時期もありました。しかし、ケースバイザーやスーパーバイザー、助手さん含め院内のスタッフの皆様が親身になって力を貸して頂いたり、一緒に問題の解決をして頂いたり、分からないことは一緒に考えて頂き、そして分かりやすく教えて頂いたりとても良い実習生活が送れました。また、作業療法としての視点、実技面での指導など沢山の事を学びました。その中でも一番大切なのは、担当症例を含め「患者様を理解し、患者様の事を考える」という事です。患者様の予後・社会的背景・生活様式などをしっかりと考え生かしていきたいです。

臨床実習を終えて

河原医療大学校
理学療法学科 4年 大橋 翔哉

この度は、臨床実習Ⅱにてたくさんの事を学ばせて頂きました。ご協力頂きました担当症例患者様や、模倣、見学をさせて頂いた患者様、南国病院スタッフの皆様に感謝致します。ありがとうございました。

今回のたくさんの経験は、実際に臨床で経験しないとわからないことばかりで、とても貴重な経験を積む事ができました。患者様や病院スタッフの皆様の協力があった臨床実習を無事終えることができました。

病棟では、主に神経難病の患者様への評価・治療といった具体的なアプローチについてたくさん学ぶ事ができました。さらに、在宅医療支援センターでは、実際に利用者様の体力測定を実施させて頂き、体験しながら評価時の留意点を学ばせて頂きました。学内の学習とは異なり、実際に患者様や利用者様と向き合い、臨床の場を学べた事はかけがえのない財産になりました。

今回学んだ事を今後の実習や臨床現場で生かす事ができるよう、今後も一生懸命勉学に励んでいくよう努めていきたいと思っています。

最後になりますが、今回の臨床実習はとても有意義なものとなりました。お忙しい中、私のために時間を設けて頂きご迷惑おかけしましたが、最後まで丁寧に指導して下さい、ありがとうございました。



納涼祭

在宅医療支援センター
H27.8.15



精神科作業療法室 作業療法士 西洋平

今年も去年と同様に近隣の方々や企業の協力のおかげで、南国病院納涼祭を無事に行うことができました。去年、一昨年と雨に泣かされ、一緒に副実行委員を務めた森本さんとともに「雨男」という名誉ある称号(笑)をいただいたので、「今年こそは絶対に快晴で行う」という気持ちをもとに準備していきま



した。準備をしても雨男の2人には「雨」というフレーズが頭によぎったため、今回は雨でも晴れていても行えるようにと在宅支援センターの駐車

場を飲食スペースや出店・バザー会場として、4階センターホールをデイケアメンバーによるギター演奏、患者さん・利用者さんのカラオケ大会や高知工科大生によるジャグリング、職員の出し物などのイベントで使用しました。

職員の出し物では今回南国病院初の試み(笑)の衛星中継を利用して沖縄にいる玉元先生と現地にいる川添部長による歌謡ショーを開催しました。工科大生の一生懸命ジャグリングをしている姿を見て、見ていた方が「がんばれ〜、すご〜い」と拍手を送る姿は今でも目に焼き付いています。

職員の出し物では今回南国病院初の試み(笑)の衛星中継を利用して沖縄に

最後にはスタンプラリーの抽選会を行い、抽選に当たった患者さんもうれしそうに病棟に持って帰っていたため、うれ

しい気持ちになりました。今回の納涼祭では快晴で行うことができたため、雨男の称号は返上する形になり、ホッとしています(笑)。



来年もたくさんの方に来て頂けるような納涼祭ができるように頑張ります。ご協力して下さった皆様、本当にありがとうございました。

また、病院職員の皆さんもお疲れさまでした。

